

「小中の連携をはかり、 塩山北中学校区の子どもたちを育てていこう」

I 主題設定の理由

「地域で子どもを育てよう」という考えのもと、同じ地域で学ぶ子ども達を育てる教職員が連携を図ることが求められている。特に小・中学校の連携は子どもの実態を知る上で重要で、お互いに情報交換することにより、一人ひとりの実態に即した指導が可能になる。また、同じ地域で子どもを育てる教職員が課題点を出し合い、共有することにより効果的な指導ができるのではないかと考え、この主題を設定した。

II 研究の具体的内容

1 第1回ブロック交流研究会（臨地研修）

(1) 日時 8月5日（金） 13:30～15:00

(2) 目的 地区内の歴史、文化や自然について講師の先生から学び、子どもの学習と地域理解に役立てる。

(3) 内容

ア 道祖神について（講師：廣瀬一孝先生）

・大藤地区にある道祖神を訪ねる。

イ 上条集落の生い立ち（講師：中村 信先生）

・上条地区にある神社、住居等を訪ねる。

(4) 成果

臨地研修会では大藤・神金地区について学べた。講師の先生から多くのことを学ぶことができ、また塩北中学区の歴史や自然について知る良い機会となった。

2 第2回ブロック交流研究会

(1) 日時 11月16日（水）

(2) 場所 玉宮小学校

(3) 内容

ア 授業参観

・全学級の授業を公開

イ 部会別研究会（低・中・高学年部会）

・本時の授業について

・各校の児童、生徒の様子について

・意見交換（授業を参観しての感想・小中連携について等）

3 第3回ブロック交流研究会

(1) 日時 1月30日(月)

※予定されていた1月17日に、スキー教室2校実施となってしまったため変更した。

(2) 場所 大藤小学校

(3) 内容

- ア 授業参観 全学級の授業を公開
- イ 部会別研究会(低・高学年部会)

- ・本時の授業について
- ・意見交換

「学力向上」や「確かな学力」との関わりの中で、個に応じたきめ細やかな指導で心がけていること、学力向上のために取り組んでいること、思考力や表現力を高めるために取り組んでいること、小中連携等。

III 成果と課題

1 成果

- ・臨地研修では地域の方を講師に招き、神金小地区の上条集落、大藤地区の道祖神について理解を深めることができた。地域素材の教材などに生かしていきたい。
- ・今年度は玉宮小と大藤小で公開授業を行い、全学年の子ども達が意欲的に学ぶ姿が見られよかった。その後の研究会においても、塩北中学区の子どもの課題やよいところ、小中連携して取り組んで行くべきことなど確認し合うことができ、有意義な会となった。話し合いにはっきりした観点があり、話し合いがしやすかった。
- ・各校の様子を互いに見合うことで、自校の課題も見えてくることもある。4校で授業を公開することは活性化にもつながる。

2 課題

- ・児童、生徒間の交流を今年もさぐっていったが、どのような形で実施できるか考えていくとよいと思う。(児童・生徒数の減少のため。)
- ・低、中、高、一本ずつの授業公開でもよいのでは。
- ・小中連携を考えると、毎年中学校と小学校一本ずつの授業公開でもよいのでは。
- ・夏休みの臨地研修は、内容を変えてもよいのではないか。臨地研修の良さもあるが、来年度の研究内容を考えると、学習会のような形ではどうだろうか。

IV 来年度に向けて

- ・来年度は「確かな学力育成プロジェクト」の研究内容ともリンクし、小中の連携をさらに意識した取り組みをしていきたい。

(ブロック長 三森 明美)